

フィンランド・ラトビア研修報告

～ 日本版ラヒホイタヤを目指して～



目次

- パート1
 - 2040年問題とは？
- パート2
 - フィンランドのラヒホイタヤとは？
- パート3
 - 日本版ラヒホイタヤの行方は？



パート1

2040年問題とは？

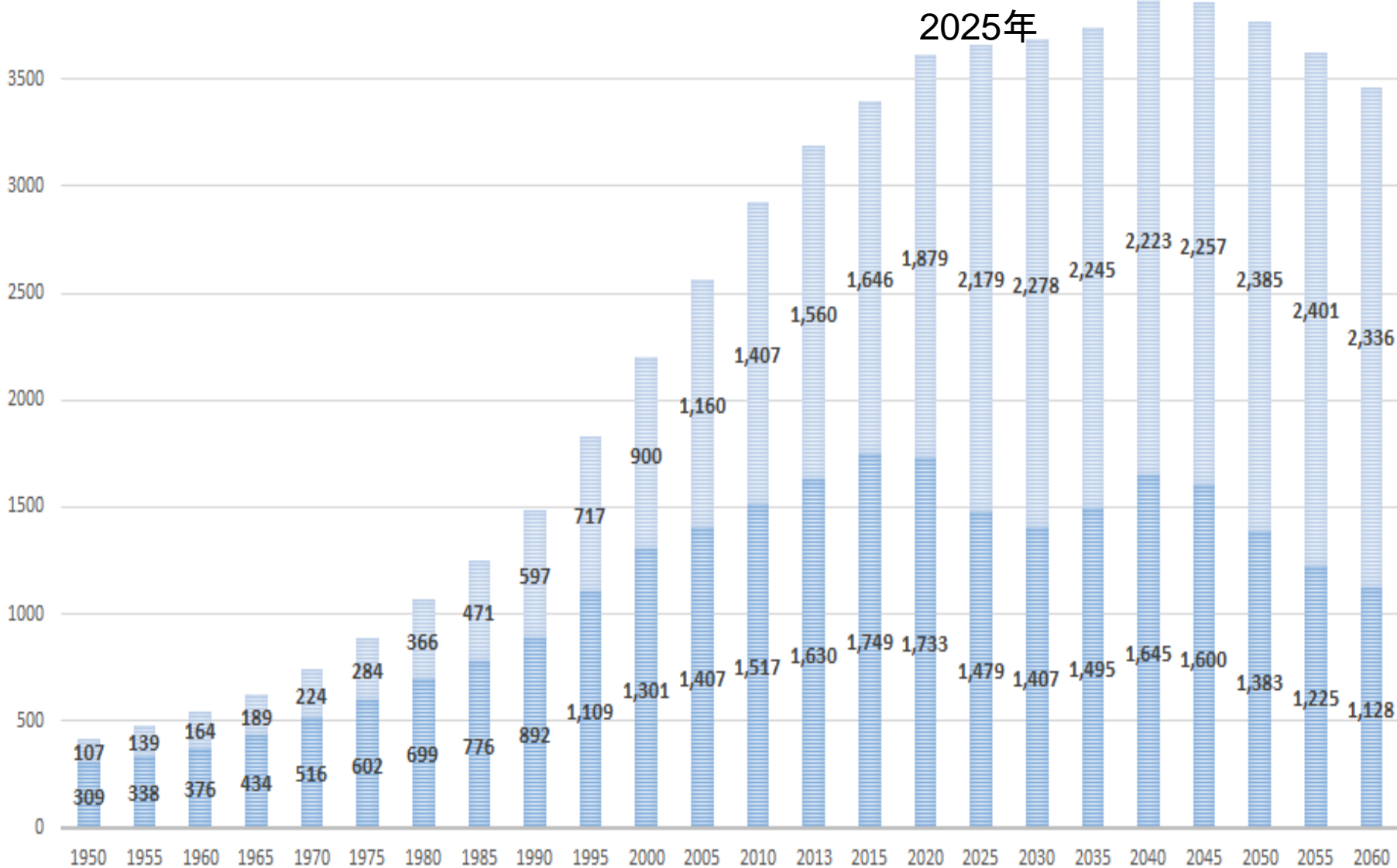
2040年に何が起きるのか？

65歳以上の高齢者の人口推移

■ 65～74歳 ■ 75歳以上

2040年

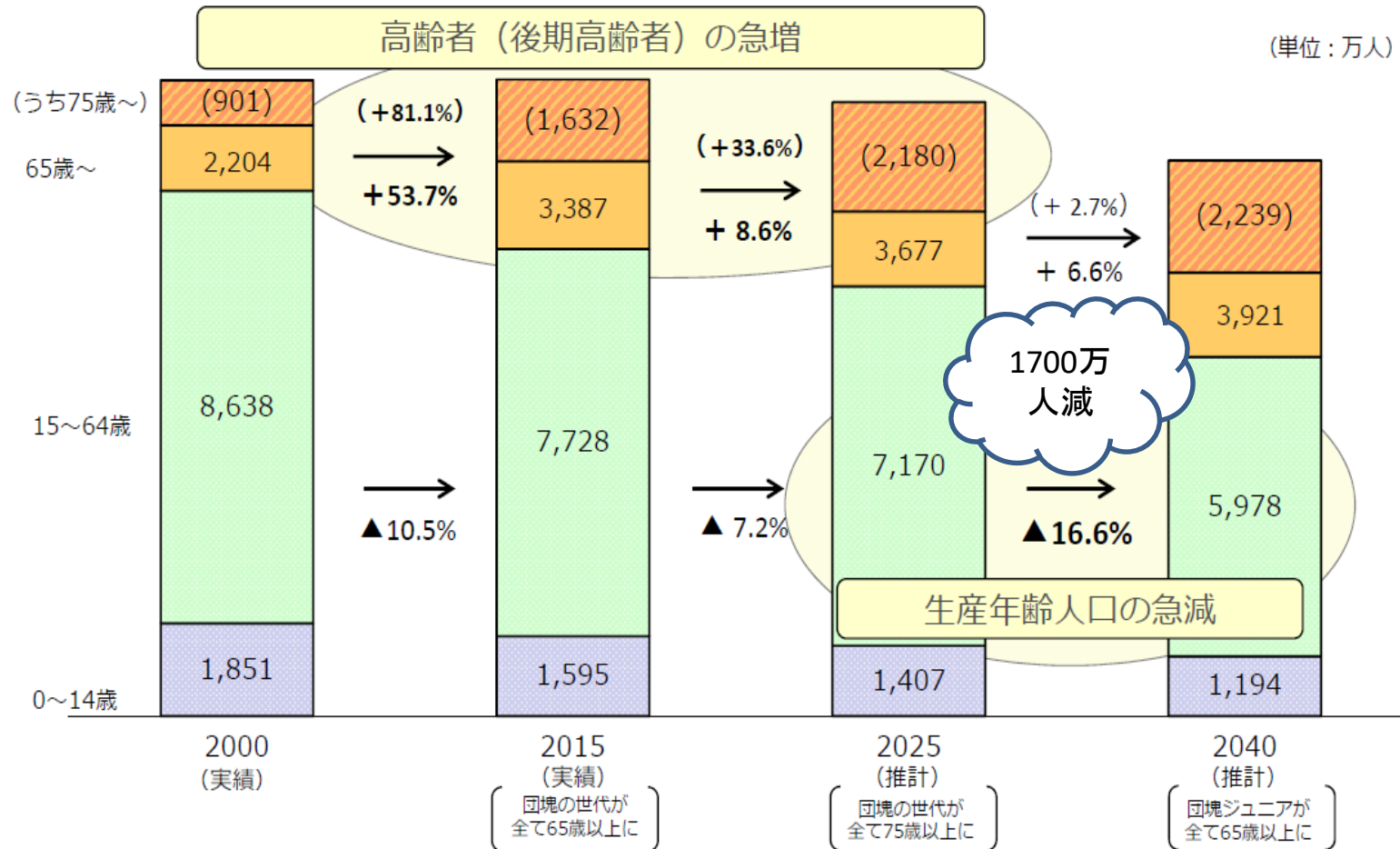
万人



2040年までの人口構造の変化

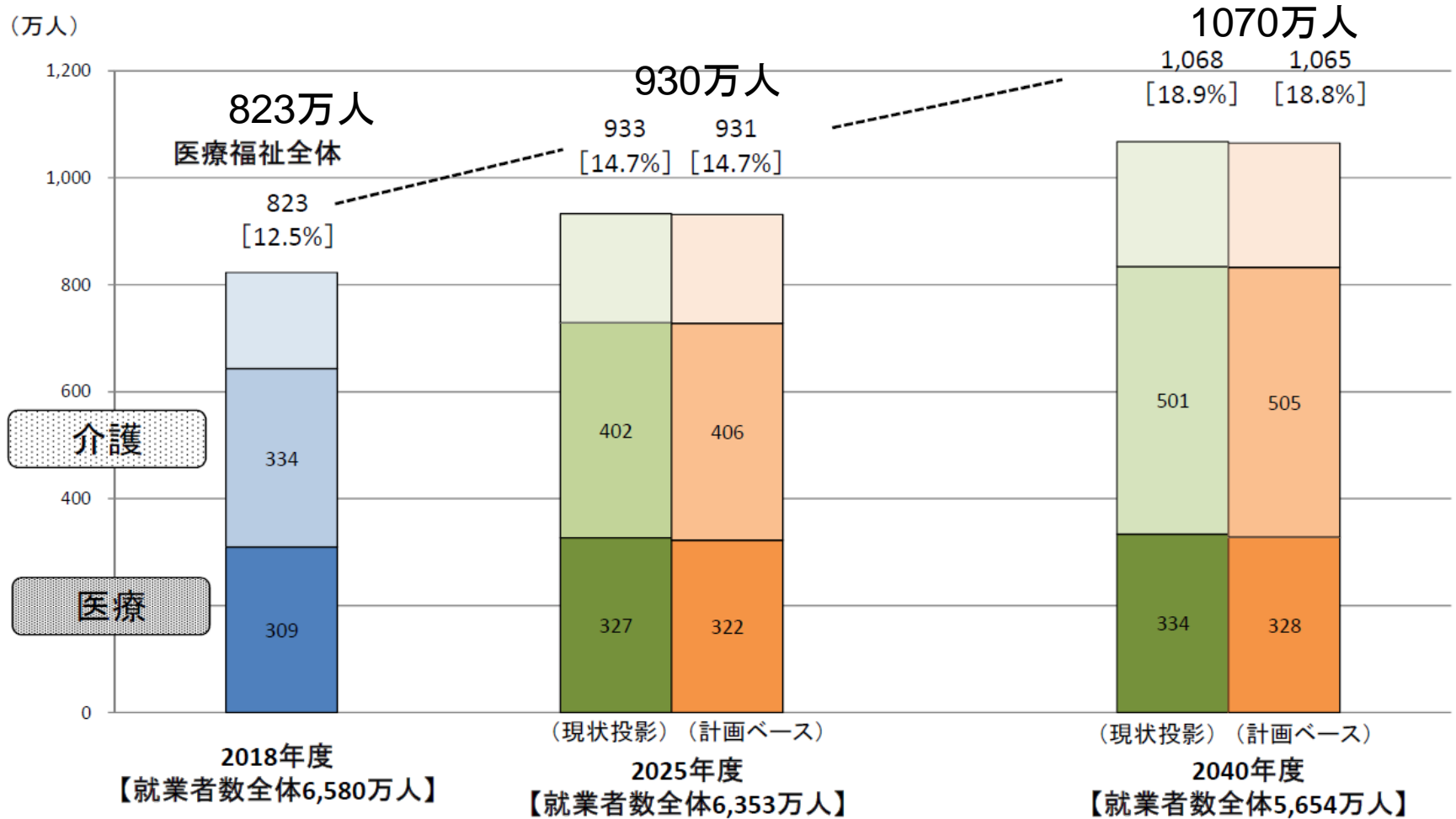
- 我が国の人口動態を見ると、いわゆる団塊の世代が全員75歳以上となる2025年に向けて高齢者人口が急速に増加した後、高齢者人口の増加は緩やかになる。一方で、既に減少に転じている生産年齢人口は、2025年以降さらに減少が加速。

【人口構造の変化】



(出典)総務省「国勢調査」「人口推計」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口 平成29年推計」

医療福祉分野の就業者数の見通し



(注1) []内は就業者数全体に対する割合。

(注2) 医療福祉分野における就業者の見通しについては、①医療・介護分野の就業者数については、それぞれの需要の変化に応じて就業者数が変化すると仮定して就業者数を計算。②その他の福祉分野を含めた医療福祉分野全体の就業者数については、医療・介護分野の就業者数の変化率を用いて機械的に計算。③医療福祉分野の短時間雇用者の比率等の雇用形態別の状況等については、現状のまま推移すると仮定して計算。

(注3) 就業者数全体は、2018年度は内閣府「経済見通しと経済財政運営の基本的態度」、2025年度以降は、独立行政法人労働政策研究・研修機構「平成27年労働力需給の推計」および国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口 平成29年推計」(出生中位(死亡中位)推計)を元に機械的に算出している。

2040年問題のポイント

就労人口減が最大の課題！

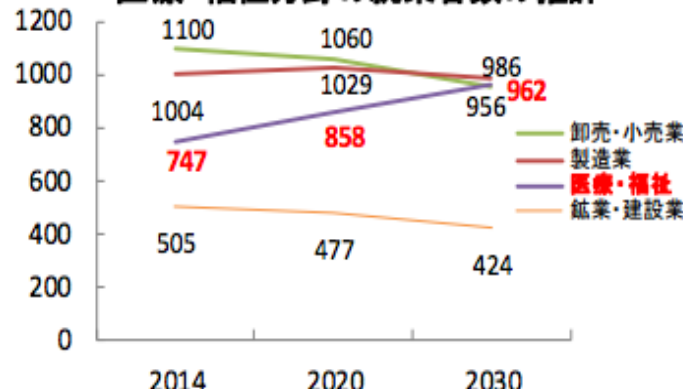
医療福祉介護の専門職の教育も変えなければならない！

医療・福祉人材の最大活用のための養成課程の見直し

【現状・課題】

- 医療福祉の就業者数は、2030年に卸・小売業を抜き製造業に比肩。
- 専門資格を持ちながら専門分野で就業していない潜在有資格者は、例えば、看護師・准看護師で約3割、介護福祉士で4割強、保育士で6割強と多数。
- 生産年齢人口が減少する中、今後の医療・福祉のニーズの増大に対応するためには、**潜在有資格者の掘り起こしとともに、多様なキャリアパス構築等を通じた人材の有効活用の視点が必要不可欠**。なお、これは、生産年齢人口が減少する中、他の高付加価値産業での人材確保にも資する。

(万人) 医療・福祉分野の就業者数の推計



※就業者数について、2014年度は総務省「労働力調査」。2020年及び2030年は、雇用政策研究会推計(平成27年12月)の「経済成長と労働参加が適切に進むケース」の値。

具体的な取組

【対応の方向性】

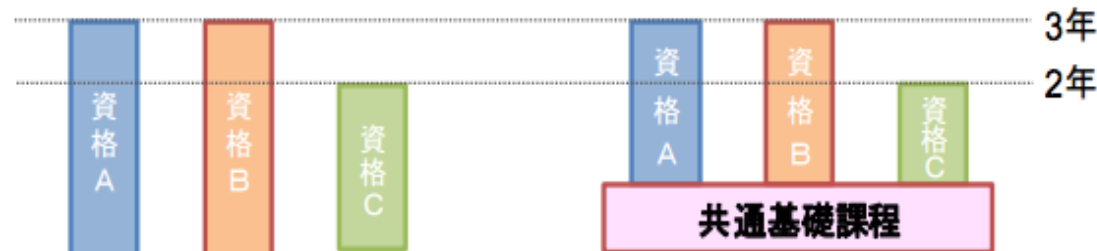
- **複数の医療・福祉資格を取りやすくし、医療・福祉人材のキャリア・パスを複線化。**

- 医療・福祉の**複数資格に共通の基礎課程を創設し、資格ごとの専門課程との2階建ての養成課程へ再編**することを検討。
- **資格所持による履修期間の短縮、単位認定の拡大**を検討。

【共通基礎課程のイメージ】(※具体的な制度設計は今後検討)

現在: 資格Aの有資格者が資格Cをとる場合、原則、**新たに養成課程全体(2年間)**を修了する必要。

将来像: 共通基礎課程を修了した資格Aの有資格者が資格Cをとる場合、**短い履修期間で資格取得**。



(参考)医療・福祉関係資格の例

【医療】

看護師
准看護師
理学療法士
作業療法士
視能訓練士
言語聴覚士
診療放射線技師
臨床検査技師

【福祉】

社会福祉士
介護福祉士
精神保健福祉士
保育士

共通基礎課程の対象職種

- **【医療系】**

- 看護師・准看護師・理学療法士・作業療法士・視能訓練士・言語聴覚士・診療放射線技師・臨床検査技師

- **【福祉系】**

- 社会福祉士・介護福祉士・精神保健福祉士・保育士

- これらの資格取得者が共通基礎課程を通じて複数の資格を取りやすくなるように制度を変えていく。

共通基盤課程の今後

- 保健医療福祉の専門人材について、対人支援を行う専門資格を通じた新たな共通基礎課程の創設を検討する。
- 2017年度に共通基盤課程の検討に着手し、各専門課程の検討を経て、2021年度をめどに新たな共通基礎課程の実施を目指す。
- 2018年全国厚生労働省関係部局長会議資料より

パート2

フィンランドのラヒホイテアとは？



ラヒホイタヤとは？

- ラヒホイタヤ（社会・保健医療基礎資格）
 - フィンランドの社会・保健医療共通基礎資格のことで、保健医療分野と社会サービス分野の日常ケアに関する、様々な中卒レベル資格を一体化し、一つの社会・保健医療基礎資格としたもの。
 - ラヒホイタヤは lahi（身近な）と hoitaja（世話をする人）の意味を持つフィンランド語。lähihoitoとは、英語near care（日常ケア）に相当する。
 - 1993年よりスタート

ラヒホイタヤが生まれた背景①

- フィンランドの高い高齢化率
 - フィンランドは、北欧型の社会保障・社会福祉システムを持つ福祉先進国で、2025年にはフィンランドの高齢化率は、EU圏内で最も高くなると試算されている。
- 人材不足
 - ラヒホイタヤは、少子高齢化で人材不足が懸念される福祉人材確保を目的とし合理的なマンパワーの配置を行うために生まれた。

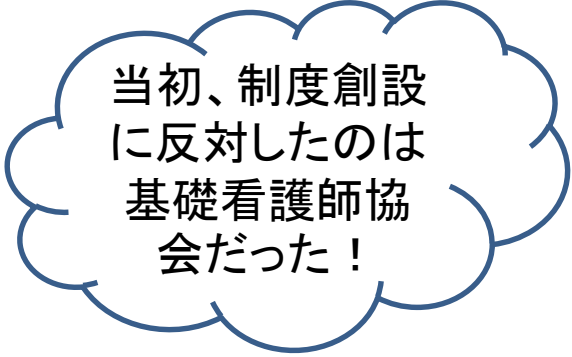
ラヒホイタヤが生まれた背景②

- **在宅ケアの充実のために**
 - ラヒホイタヤの創設が検討されていたころ、フィンランドでは施設の収容数を段階的に減らし、在宅ケアへと移行させていくという政策が取られた。
 - これに伴って、マンパワーの総量を変えずに、在宅ケアで必要なケアを行っていくために、1人1人の能力を向上させることが必要となった。
- **分断されたケアから統合されたケアへ**
 - サービスを利用する高齢者から、在宅でケアを受けるにあたって、複数の人が入れ替わり立ち代わり訪問するのではなく、さまざまなスキルを身に付けた人が1人で担当してほしいという要望があったとされている。

ラヒホイテアで統合した10の資格

- 保健医療部門における7つの資格

- ①准看護婦 : Perushoitaja
- ②精神障害看護助手 : mielenterveyshoitaja
- ③歯科助手 : hammashoitaja
- ④保母／保育士 : lastenhoitaja
- ⑤ペディケア士 : jalkojenhoitaja
- ⑥リハビリ助手 : kuntohoitaja
- ⑦救急救命士－救急運転手 : lääkintävahtimestari-sairaankuljettaja



当初、制度創設
に反対したのは
基礎看護師協
会だった！

- 社会ケア部門における3つの資格

- ①知的障害福祉士 : kehitysvammaistenhoitaja
- ②ホームヘルパー : kodinhoitaja
- ③日中保育士 : päivähoitaja

- 「社会・保健医療基礎資格、ラヒホイテヤ」として名称独占資格となった。

ラヒホイタヤのメリット

- 労働市場内を移動することによって、長期に仕事を継続することができる（例えば、日中に保育園で働いた後、高齢者のホームヘルパーとして働いたり精神障害者施設でも働くことが可能になる。）
- 無資格の不安定な低階層の職種がなくなり従来のホームヘルパーの質の向上
- 介護人材の離職者減少
- 異業種間移動が極めて容易
- 質の高い労働で短時間・高賃金の労働が可能になる

ラヒホイタヤ養成校 ヴァンター市立バリア校



ラヒホイタヤ実習風景



ラヒホイテアの教育課程

- 中学卒業後の専門学校教育（3年間）
 - 1年 教養科目、語学、医療・福祉の理論教育と実習
 - 2年 高齢者実習などが中心
 - 3年 障害者、精神、薬物依存などの専門教育
- 社会人教育の場合は2年間教育
- 学費は無料
- 全国77カ所の養成校がある。

ラヒホイタヤの就職の場

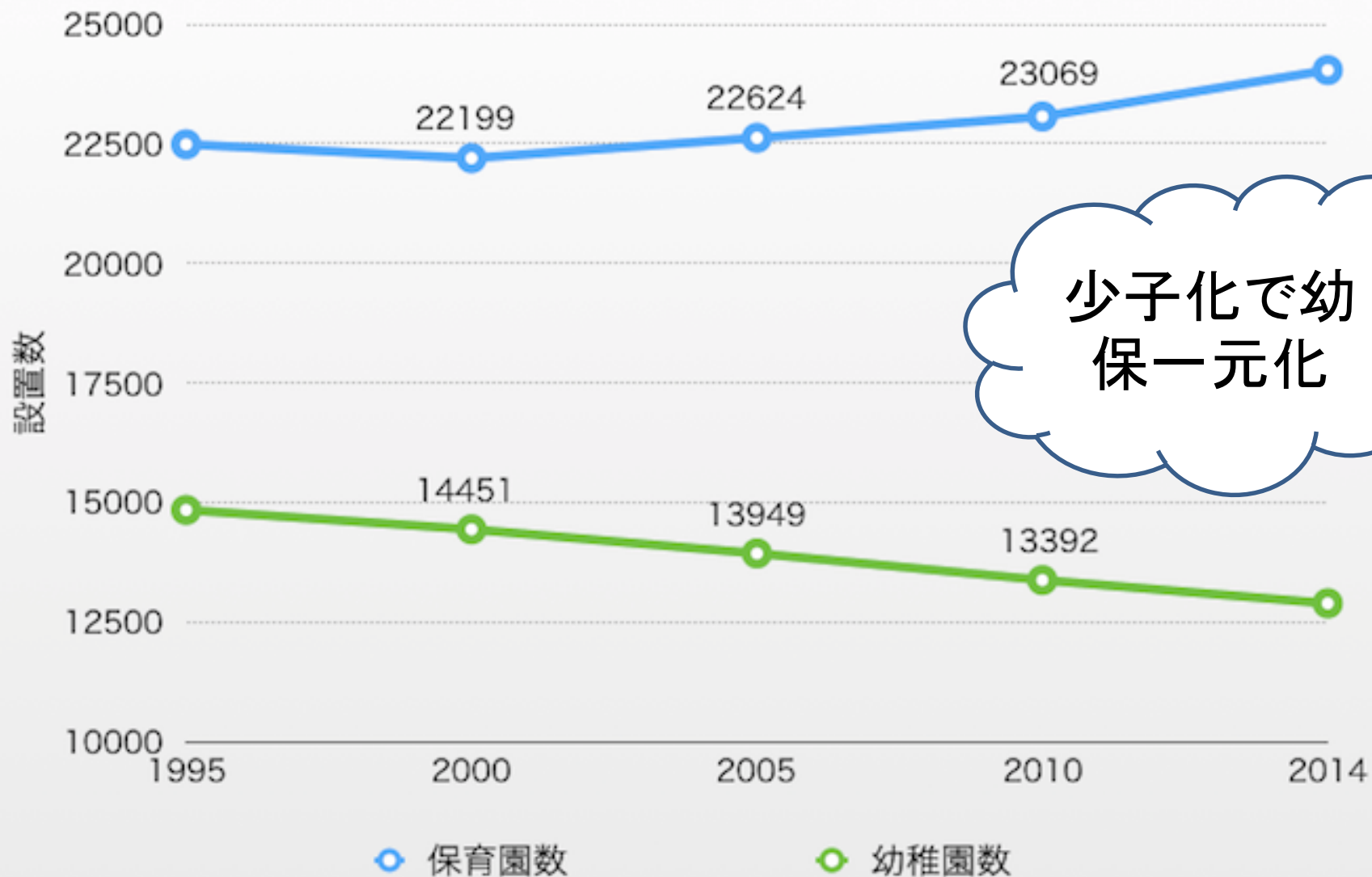
- フィンランドでは、“ラヒホイタヤ”の資格を取得した場合、保育園や在宅サービス、通所型ケア等のオープンケア・地域の公設医療センター等のヘルスセンター、病院やリハビリホームやナーシングホーム・保健医療社会サービスの関する施設などで働くことができる
- 資格を取得した人の医療施設・福祉施設への就職率は100%

パート3

日本版ラヒホイテアの行方は？

幼稚園と保育所数の推移

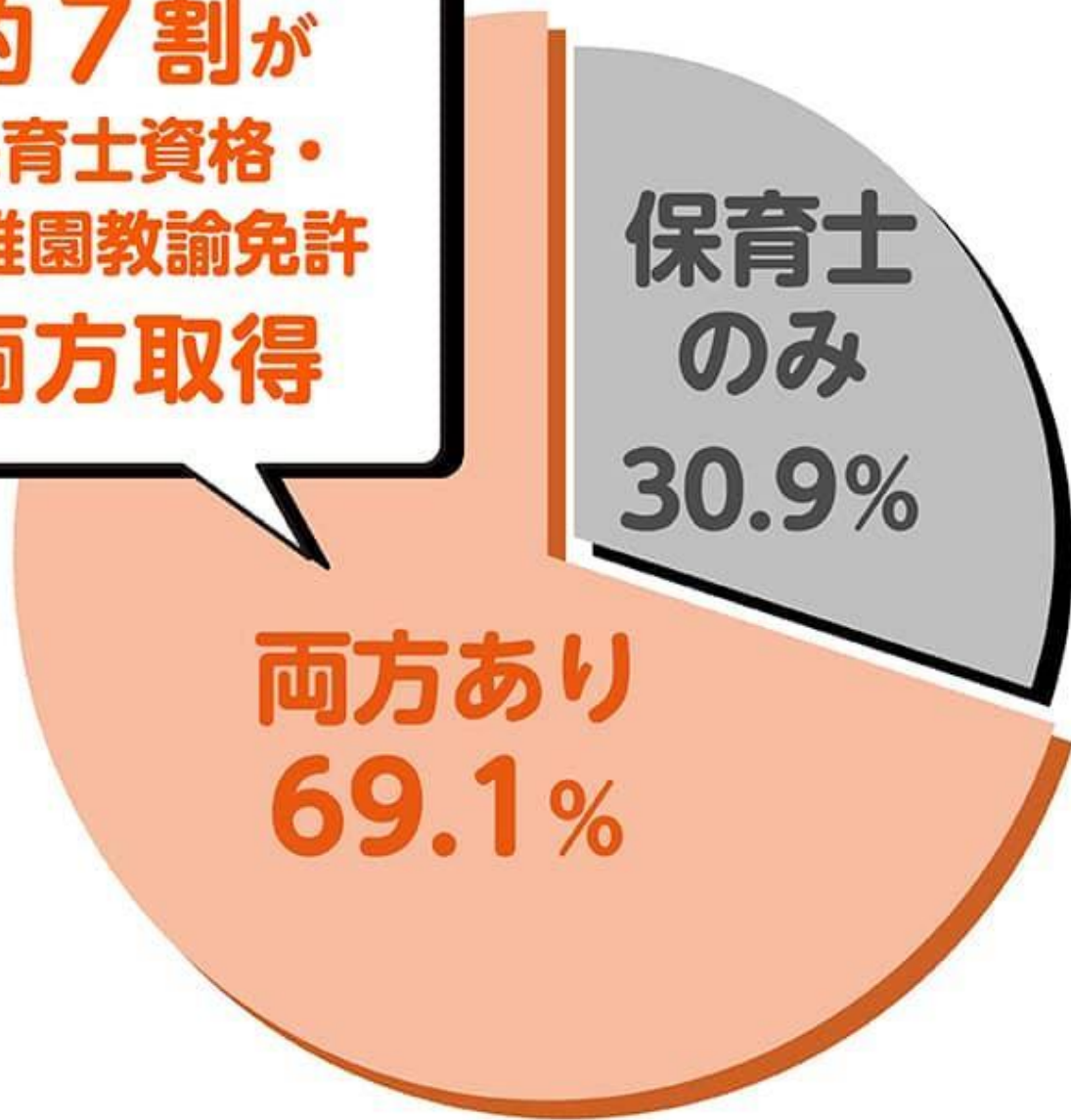
(総務省統計局)



約7割が
保育士資格・
幼稚園教諭免許
両方取得

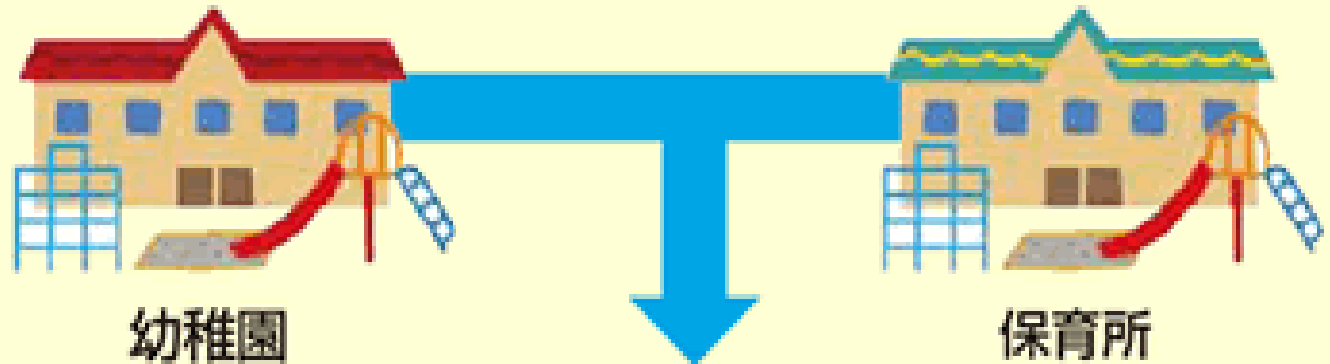
保育士
のみ
30.9%

両方あり
69.1%



今後の施設のイメージ

幼保一体化



幼稚園

保育所

幼稚園または保育所を改修



こども園に変更

(0歳~5歳の保育所児童)

(4、5歳の幼稚園児童)

廃園



幼稚園

後利用検討

	保育園	幼稚園
施設区分	児童福祉施設	教育施設
管轄	厚生労働省	文部科学省
保育対象年齢	0歳～小学校入学前	3歳～小学校入学前
保育時間	7時半頃～18時半頃 ※認可施設においては、1日の最大利用時間が 11時間（保育標準時間） と、 8時間（保育短時間） の場合がある。	9時頃～14時頃 ※延長なしの場合、1日の教育時間は標準 4時間
給食	義務	任意
保育料	認可保育園の場合は自治体が決定	公立：自治体が決定 私立：設置者が決定

日本版ラヒホイテアを目指して



2015年4月14日 塩崎元厚労大臣

塩崎大臣記者会見 (2015年4月14日)

- 今後都市部では急速な高齢化の進展によりまして、介護ニーズの急激かつ大幅な増大が見込まれます。
- 一方で、地方や中山間地域におきましては、介護・福祉に関する人材確保やサービス提供が非常に困難な地域が増加するだろうと見込まれております。
- 先日取りまとめられました「厚生労働省まち・ひと・しごと創生サポートプラン」においても、介護・福祉サービスを融合させる推進方策とともに、これらのサービスの担い手となる専門職種を統合・連携させる方策を検討するための検討チームを省内に設置する



日本版ラヒホイタヤの導入見送り

- 2015年6月16日、厚生労働省がプロジェクトチームで、10の資格の統合を検討した
- 福祉の現場関係者からのヒアリングなどを行った
- その結果、准看護師との統合は断念し、例えば保育士が介護福祉士の資格を取得しやすい仕組みを検討する事となった。
- 「保育士と介護福祉士が双方の資格を取りやすくする」「いずれかの資格取得者には他方の資格の試験科目を一部免除したりすればよいのではないか？」などの意見がある。

日本版ラヒホイタヤへの批判

- 保育士と介護福祉士を資格統合するという案に対しては・・・
- 介護・福祉の現場からは、高齢者と幼児で異なる技術・知識が必要な業務を1人でこなす事を求められる資格の一本化に対する反発がある。
 - 両方を経験した人が語るには、二つは全然違うので、無理があると思う。仕事内容や賃金レベルを考えたら、保育ママや、ヘルパー二級を活用した方が実用的だ。

A scenic view of a lake at dusk. On the left, a large, multi-story red brick building with several windows is reflected in the calm water. The sky is a mix of blue and orange, suggesting sunset. In the foreground, two people are standing on a rocky shore, looking towards the water. A small green boat is partially visible near the shore. The overall atmosphere is peaceful and serene.

2040年を目指して
日本版ラヒホイテアを育てよう！

ご清聴ありがとうございました



フェースブック
でお友達募集
しています

国際医療福祉大学クリニック <http://www.iuhw.ac.jp/clinic/>
で月・木外来をしております。患者さんをご紹介ください

本日の講演資料は武藤正樹のウェブ
サイトに公開しております。ご覧くださ

武藤正樹

検索

← クリック

ご質問お問い合わせは以下のメールアドレスで
mutoma@iuhw.ac.jp